

プログラム名 (40字以内)	環境DNAを用いた魚類調査プロジェクト		
団体名/所属	認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動、 農林水産業などに関わる地域体験活動、 フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	2組4人(2人1組で作業を行います)	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	安全に配慮してフィールドワークを楽しむこと。専門的な知識やスキルは不要です。		
活動期間	2026/8/1(土)～8/20(木)のうち 任意の一日	主な活動予定場所	日本全国の海岸
プログラム実施の目的	日本の周辺海域は、実は世界でも有数の生物多様性ホットスポットで、4,000種くらいの魚が生息していると言われてます。しかし多様な魚がどのように日本沿岸に分布し、季節変動するののかについては、まだわかっていないことも多いのです。海の中で私たちは自由に動き回れませんが、そこを泳ぎ回る魚の調査は簡単ではないのがその理由です。また、調査の難しさは保全の難しさでもあります。温暖化をはじめとする地球環境の急激な変化が海に棲む生物に及ぼす影響が心配されていますが、それを知る方法がとても限られているのです。このプロジェクトの目的は3つ。一つ目は、最新の生物調査法「環境DNA」と市民の皆さんの力を借りることで、これまで誰もみたことのない解像度で「日本沿岸の魚の生物多様性」を観測すること。二つ目は、世界中の科学者が自由に利用できる生物多様性のデータベースを作ること。三つ目は、自分の手で身近な生態系の様子を知ること、日本沿岸域をどうやって保全・利用していこうか考える足がかりを作ることです。		
具体的な内容(800字程度)	<p>自身が希望する場所でマニュアルに沿って作業を行います。研究者から送付される調査キットを使って海水を採取・ろ過し、得られた試料を保存・封入して、研究者に発送します。</p> <p>安全性に配慮しながら作業していただくため、調査協力者と2人1組で作業を行います。(個人差がありますが作業には2時間程度かかります)</p> <p>調査協力者は、ご自身で見つけていただき、応募をお願いします。調査協力者は、東京大学の学生に限らず、ご家族やご友人の方でも構いません。</p> <p>なお、東大生とペアで応募される場合は、参加申請書に調査協力者のお名前をご記入ください。</p> <p>オンラインによる事前説明会(録画提供あり)やマニュアルで、詳しい方法を説明しますので、調査に関する特別な知識や技能はいりません。詳しくはプログラム解説書およびビデオマニュアルをご覧ください。</p> <p><調査プログラム解説書 2025(参考)> https://www.earthwatch.jp/doc/briefings/briefing_edna_2025.pdf</p>		
【総額】参加するための費用	3,000円+自宅から調査地の往復交通費		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	無		
【内訳】参加するための費用(交通費)	自宅から調査地の往復費用		
【内訳】参加するための費用(その他)	参加費3,000円		
奨励金額(予定)	活動終了後に算出		
備考	<p>プログラム概要 https://www.earthwatch.jp/japan_programs/edna/</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	過去の調査報告は、こちらからご覧いただけます。 https://www.earthwatch.jp/annual_report/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.earthwatch.jp		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加しない		